

NO10
 S63年3月28日
 一発行一
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

『熊本県障害児者

医療懇話会』

発光足

理事長 田中 稔

この3月6日、熊本県障害児者医療懇話会の発足にむけての準備会が大学附属病院内で開かれました。この会は私達の呼び掛けにより障害児者医療に各々の立場で関わっておられる各科の医師（小児科、小児発達科、内科、精神科、整形外科、眼科、耳鼻科、産科、歯科など）が参加し結成されるものです。自閉症を例にとれば、熊本においては20年の歴史をもっています。この間に自閉症への考え方は大きく変わりました。服部陵子先生をはじめ、何人かの先生方が、孤軍奮闘の形で頑張っておられました。他方、それを障害児の側からみますと、一人の障害児の

たどった療育の内容を示すものは殆ど残っていない。又、現在でも福祉、教育、医療の現場でさえ、未だに正しい姿勢で理解されていない。このような状況は、他の障害についても同様な状況にありましよう。

直接に障害児者の医療に係わっておられる医師のほかに一般の治療にあたる先生方にも障害児者について知っていただく事は、大変有り難いことです。一人でも多くの医師が組織化され、相互に交流、研修されることにより熊本県全体の障害児者の医療が今後大きく育っていくことを願わずにはいられません。

私の先輩に教えられた言葉に『病気を診るが病人を診れない医者になるな』というのがあります。一生の間には僅かな発達しか見られ

てみれば興味の湧く対象ではないかもしれません。しかし、生き生きと生きている一人の人間としてみればまことに興味津々たる、面白い、懲りない面々なのであります。

熊本県障害児者懇話会、発足にあたり一人の人間としてこの子供達を受け止めていただきたいものです。

ご存知ですか？

三気流ながいながあい台拭き
 三気の里には面白い台拭きがあるんです。横15〃縦50〃位の長い台拭きです。なぜこんな変てこりんなの台拭きを使っているのか？
 お答え致します。実はその台拭きは、トイレトーパーのかわりをしているのです。台拭き当番イコール排せつ指導なのです。尻拭きのお勉強なのです。トイレトーパーの折り方、手の使い方、台拭きを通して覚えるのです。食堂の台拭きとトイレの尻拭きが結びつくとは？面白いものですね。

療育シリーズ
NO 10

治療教育(一)

未知の窓

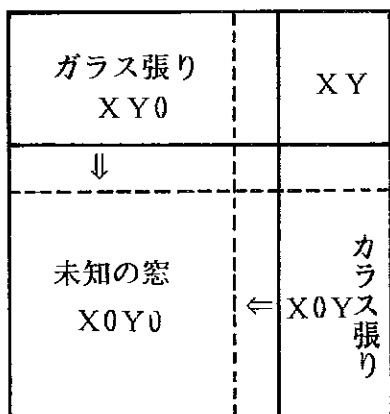
園長 土井尚典

園生と生活して10ヶ月になりました。園生については、生いたちやちよっとした癖までまだまだ知らないことが沢山あります。一人の園生に目標設定するに当たり、どれだけその園生を知っているかが目標の遂行の予測に役立ちます。目標を実行するプロセスでプラスの面とマイナスの面が園生の行動としてあらわれてきます。マイナス面を充分予測し対応できるようにし、プラスの面をより効果的に伸ばすことが望ましい訳です。例えば、誰とも心を開かず、人と仲良くなれていない園生に、「担当と仲良くなる」という目標を設定したとします。実行の過程で、担当にベタベタとくっついて来たり抱きついたりします。また、泣き虫になったり、わがままになったり

りもします。しかし、このような行動を予測しておれば、一見して困った行動が実は着実に目標に近づいているサインとして理解することが出来ます。こういう事は生いたちの中に隠されていたり医師や学校の先生の助言を受けることにより分かることもあります。本人についていかに知っているかは指導のプロセスで自信につながって来ると思います。そして本人についての未知の部分はいかに少なくするかが目標設定と遂行の上で大切になってきます。

未知の部分を知るために図式化しますと左図のようになります。担当が本人について知っている部分をX、知らない部分をY。他の人が本人について知っている部分をY、知らない部分をY0とします。担当も知っていて他の人も知っている部分XYはほんのわずかであることがわかります。担当しか知らない部分X Y0もあります。外の人が知っている部分X0 Yもあ

知らない部分X0 Y0があることもわかります。この誰も知らない部分を未知の窓と名付けますと、これが自閉症の未知の部分かもしれませぬ。この未知の窓とにらめっこしてきますと、面白いことに気がつきます。担当が知っている部分が増加し、他の人が知っている部分が増加し、互いに知らせ合うと未知の窓が小さくなってくることです。つまり園生をとりまくチームワークが強くなり、お互いがガラス張りになると未知の窓はどんどん小さくなり、自閉症がよく見えて来ると思います。



ひな祭り

三氣の里・ひな祭り

3月3日は、一般にいうひな祭り、この三氣の里では、班ごとにてづくりのひな人形で祝いました。それでは、各班のひな人形の様子をご紹介します。まず1班では、卵の殻を使ってのお内裏様とおひな様、卵が赤卵だったためわざわざ手を白くしながら白くぬって使いました。つづいて2班は折り紙を使っての上品なひな人形が出来上がりました。みな上手にできてたね。3班はユニークに人間ひな人形、それぞれ園生がお内裏様、おひな様、五人ばやしになりすまし、おみごと、五人ばやしの笛、太鼓がほうきや洗面器だったのはグッドアイデアかな。最後は4班は、みんながよだれをたらしながら眺めていたというのはおにぎりに薄焼き卵などを使ってのおいしそうなひな人形だったからです。4班のみんな、食べない

でよく我慢したね。エライと思っ
ていたら一皿だけ薄焼き卵の衣を
着ていないおひな様がいたよう
ですね。各班のひな人形の披露の
前に厨房さんより白酒が配られ皆恐
る恐る飲んでいました。2杯3杯
とおかわりをしていたのは誰？子
供用白酒だったので、さすがに酔っ
払う園生はいなかったようですね。
以上ひな祭りの風景でした。(武藤)

我が家の

ひなまつり



満塩 ユウ子

生まれて7ヶ月目のおひなさま
の日、おばあちゃんに買ってもらっ
たおひなさま。いろんな方から頂
いた人形やぬいぐるみ、桃の花に
かこまれて、じいちゃんの贈り物
のイスに腰掛けて、にこやかに笑っ
ていた見子。

アルバムをめくるたびに、目に
入る最初のおひなさまの日、こん
な日もあったんだなあとは今では遠

い昔に感じられます。

小さい時は、一週間で部屋を占
領していたぬいぐるみや人形も、
おもちゃになっていきました。

おひなさまも、首がぬけたり、
左大臣がはだしになったり、笛や
太鼓がひしゃくと入れ替わったり、
弓矢を内裏様が持ち、草履取りが
太鼓を前に置くなど、道具があち
こち移動するようになりましたが、
まだ充分に飾って置けましたし、
見子も楽しく遊んでいたようです。
そのうち修理も大変になり、こ
の数年、おひなさまは茶箱の中に入
ったままになっています。

先日迎えに行き、たんぼの部
屋で手作りのおひなさまを見つけ
ました。あっ、しまった、わすれ
てた！という思いが通り過ぎまし
た、がすぐに忘れてしまいました。
今度、おひなさまのことを書く
ように言われ、改めて考えさせら
れています。来年こそ、おひなさ
まを飾り、見子の帰りを待つよう
に、心のゆとりを持つ努力をして
いきたいと思えます。

—— 2班・食いしんぼうの大冒険 ——

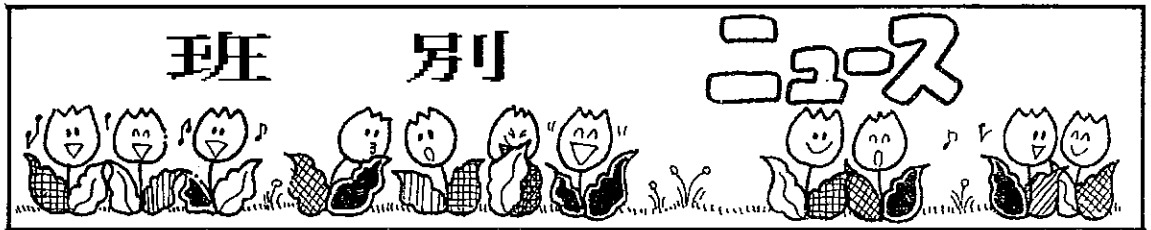
2班の食いしんぼうの団は、今月は大津の来来ラーメンまで歩いていくことにしました。皆、数日前からうきうきとうれしそうで、当日は小春日和の良い天気になり、歩く足どりも軽やかにはずんでいました。農道を通ること1時間、目指す来来ラーメンにつきました。さっそく、好きなもの、好きそうなものをオーダーします。修ちゃんは口内炎が痛そうなのですが、なんとラーメン屋でスペシャルカレー、お肉大好きこうちゃん、民ちゃんチャーシューラーメン、哲ちゃんキムチラーメン、ふたみちゃん、(橋)博君は焼きソバ、そしてラーメン大好きっ子の英君、(金)博君、はじめ君と実習の坂口君は大盛りラーメンにしました。ふたみちゃん、(橋)博君の焼きソバはすぐに来ましたが、哲ちゃんのキムチラーメンは一番最後でした。⑩哲ちゃんはプレイボーイを読みながらじっと我慢したなんかちょっと大きな字では書けません。(橋)博君も横でこっそり読んでいましたよー。

(金)博君は座ったままジャンプして喜びを表現していましたし、みんな本当に嬉しそうでした。園ではできるおかわりも我慢してみんなえらかったね。おにぎりを6個ぐらい食べ、おやつも自分で買って食べた食いしんぼうの旅。また行きたいね。

追伸：前の日の昼食がラーメンだったのはちょっと計算外だったのですが、みんなは大好きなラーメンが2日も食べられて大喜びでした。(高橋)

—— 3班・私の仕事、アラカルト ——

さて、今回は我3班の作業について、お話したいと思います。3班と呼ばれていますが、別名(外作業班)といい、開園当初は、外周の清掃、環境整備をやるのではないかと期待のもとに編成されました。現実、1カ月～2カ月は、外に集まるので精一杯。そこにいるので精一杯。環境整備などいつの話といった具合でした。そこで何か作業を…おもしろくて楽しいのがいいな…ということで杉の木の皮むきを始めました。が、しかし、作業をしているのは、指導員で必死になって移植小手でむいていました。そのうち、1人、2人、と作業に参加し、道具も移植小手から皮むきナイフが登場しました。皮むきのだごみがよくみんなに伝わった頃、地域の方のご好意により、山へでかけ木の皮むきや木を運んだりする作業も出来るようになりました。まさに山男集団です。※環境整備はどうなったのか。って…それは、三気の里へ来て周りを眺めてみて下さい。我々の剥いた木がいろんな所に利用されています。ということで、ようやく“外作業”の役割を担っています。(大塚)



—— 1 班 ・ スポーツの春 ——

お家に長〜く帰る子が多くて、いつも誰かが欠けている1班。いつもなにか物足りなく、寂しいのですが…。2月25日のレクリエーションでは、久々に園生6人、指導員3人の1班のメンバーが勢揃いしました。2月だというのにすっかり春めいた天気の日。三気号にのって二の丸公園へ出掛けました。お弁当の魅力にまけそうになりながらもぐっと我慢していたみっちゃん、武ちゃん。ジャケットとチノパンでかっこよくきめた重ちゃん。ボランティアのお姉さんの耳をひっぱる信ちゃん、バトミントン、キャッチボールと元気よく遊んだきくちゃん。そこへ到着したのが帰宅中のきよし君。おかあさんに付き添われてニコニコ顔で登場。お昼までのひととき相変わらず“お弁当の見張り番”として過ごしました。待ちに待ったお弁当の時間。久々に皆で一緒のお昼ご飯、とってもおいしかった。おやつにみかんやキャラメルまでもらって大満足でした。やっぱり6人揃ってこそ1班。早く三気の里で6人の笑顔がみられるひが来ることを待っています。(平川)

—— 4 班 ・ 農耕班はガンバルマン ——

1月下旬にビニールをはり皆で苗を植えたにんじんがすこしずつ成長しています。毎朝、佐々木君はお姉さん達と一緒に畑に観察に行きます。「にんじん」と言いながらノートににんじんの成長ぶりを書いています。最初に気付いたことは、なんとにんじんよりも雑草の方が多くそしてたくましいこと。畑の栄養を全部吸い取ってしまうのです。これではいけないと強力な除草部隊を結成しました。メンバーはただお君、やっちゃん、まーちゃん、かずひさ君とお姉さん。強力なメンバーでもたまにはにんじんまで引っこ抜いてしまいますが、そこんところは気にせず3日かかりで除草部隊の仕事の幕を閉じることができました。しかしにんじんにはまだ襲い掛かってくる敵がいました。それは阿蘇山から吹きさらしの風です。ビニールがこいのぼりのごとく空高く泳ぎにんじんの小さな芽もこれには負けそうです。いつもお世話して下さる砂野さんの助けを得てビニールはすぐ元に戻りましたが、これからも何が待っているかわかりません。にんじんが成長しみんなの食卓に並ぶ日を夢見てこれからも農耕班はがんばるぞ!(池上)

スポーツ大会

がんばれ！

一二気の子

(体育実技研修応援の巻)

去る3月11日 県立総合体育館で行われたバトミントンと卓球の体育実技大会を1班と4班の全員で応援に出かけました。

朝早くから調理のお姉さん達にお弁当を作ってもらい皆は大喜びで出かけようとしたものの一部ではお弁当を食べに行くのでは？という声も聞かれました。

しかし、皆それぞれよく応援していました。「山中ちゃんー、えっちゃんー」と大声で叫んでいた忠ちゃん。立ち上り手を叩き前にのり出していた俊ちゃん。みなそれぞれの表現でそれぞれの声援を送っていました。

その声援に答え頑張った武藤さん、山中さん、多田さん、もう少し派手に応援していたら優勝も夢じゃなかったかも？(池上)

体育実技研修に

当りたって

町のバトミントンクラブに通っている(実際はまだ3・4回しか行っていないのですが)と、とつい口をすべらせたばかりに、選手に選ばれてしまいました。まあ参加することに意義が有ると……

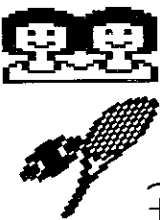
しかし、試合2・3日前になるとさすがに焦り始め、他の指導員に相手をしてもらいバトミントンの練習に通いました。最後の悪あがきです。しつかり、当日は、体中が、こわって腰を押さえながらダブルスの試合に出ました。日ごろの運動不足が、当日は、1班と4班の子が弁当を持って応援にきてくれました。試合中は、子供達の応援してくれている顔がみえ「子供たちがみている、がんばるんだ」と自分に言いきかせ、試合をしました。結果は2勝1敗でとても緊張した一日でした(山中)



監 督

3月11日に県立体育館で熊本県精神薄弱者施設職員冬季体育実技研修会がありました。内容は卓球、バトミントン、ミニバレーの競技会でした。本園からバドミントンダブルスに1チーム、卓球シングルスに1名そして私が監督として参加しました。結果はバトミントンは2勝1敗でした。卓球は見事に優勝された仁愛和光にコロッと負けました。

他施設は多数の職員参加がありミニバレーには、一施設2チームも出されるなど積極的に取り組まれているのが印象的でした。又、技術的にも素晴らしい人が多く関心しました。職員の親睦と健康増進にも役立っていると思えました。本園ももっと多くの職員が参加出来るよう工夫しなくてはと思えました。(土井)



ただ今

食堂営業中

全員揃った昼ご飯

「お帰り、きよしくん。」……ひさしぶりに見る潔くんは元氣そうだ。右手の痛痛しい包帯はもうなかった。怪我のため自宅療養していた潔君が3月19日、保護者会に出席するお父さん、お母さんと一緒にやって来た。そして、一番「私達は、そう思っている。」に食堂に挨拶にきた。「ワァー潔君、手は、もう大丈夫。」「少しふとったね。」と、次々に問いかける私達の感激はよそにいつものようにいつもの席に座り食事の音楽を待っていた。そして音楽がなり始めた。トレーを取った。御飯、とんカツ、煮物おすまし、お茶と右手をかばいながらも上手に取っていった。「慌てなくていいよ。ゆっくり取っていくよ。」私達はヒヤヒヤして見守った。無事席に着いた。そして、おいしそうに食べている。厨房から見回した食堂が、今日は、

一段と明るく楽しく見えた。久しぶりに全員そろった食事だった。

卒

業



坂口耕一

九月に実習をさせていただいてから、もう半年が過ぎました。一月までずっと卒論でお世話になりました。現在2度目の実習中です。この半年の間に、バスハイイクやクリスマス会、もちつき大会、俵山へ行ったり、温泉へ行ったり（私は2回も行きました）等の様々な活動に参加させていただきました。バスに乗ってのおでかけがうれしくて舞い上がっている様子や、サンタさんと変なタヌキさん（誰だったのでしょうか）にももらったプレゼント、もちをほうばる姿、俵山で食べたおいしいおにぎり、とても気持ち良かった温泉など様々な事を思い出します。これらのレクリエーションや実習などを通して、園

生や職員の方々と親しくなれた事をとてもうれしく思います。

とてもいい思い出づくりをさせていただきました。ありがとうございます。これからもよろしく御願ひします。

さとうようたなら

上村さん

皆さんに寂しいお知らせをしながらはなりません。というのは三気の里開設以来一年余り一緒に頑張ってきた上村さんが急にお辞めになられました。人生に出会いと別れはつきものと言うけれど園生・職員共々寂しい思いで一杯です。

暑い夏の盛り、何も知らない私達が一生懸命準備した夏祭りやたぬきの登場したクリスマス会、元氣よく餅をつく園生の姿が記録されている写真の数々は、皆彼の努力のたまものです。三気の里の記録写真を見るたびに、上村さんの雄姿を思い出す事でしょう。

時々、思い出して下さい。そして遊びに来て下さいね。（坂井）

ちよと氣になる
栄養の話

春ですね。春のかおりがプンプンしてきました。あたり一面菜の花がきれいです。桜も今か今かと咲頃を待っているようです。

三気の里では三月三日のひな祭りには、はまぐりのお吸物に菜の花をあしらひ、春分の日の翌日に桜の花の塩漬をおすましに入れて、

春気分を満喫しています。

春の味覚と言えば忘れてならぬのが、竹の子・ふき・うど・わらびといった山の幸です。今回はこれらの野菜の下ごしらえ（あくぬき）についてお話ししたいと思います。竹の子は、皮つきのまま米ぬか又は米のとぎ汁で三十分位ゆで柔らかくなったら、そのまま冷やして皮をむく。ふきは、沸騰した湯の中へ入れ塩ゆでして、色

4月行事予定

- 4月2日(土) 保護者会・帰宅訓練日
(事業報告・計画について他)
職員会議
- 4日(月) 入園式
- 6日(水) 体重測定
- 7日(木) 3班レクリエーション
- 14日(木) 4班レクリエーション
動作訓練研究会・午後7時～
- 15日(金) 防災訓練
- 16日(土) 保護者会・帰宅訓練日
(新入園生・父兄紹介他)
職員会議
- 18日(月) 4月の誕生会
- 21日(木) 2班レクリエーション
- 22日(金) 大掃除
- 28日(木) 1班レクリエーション
動作訓練研究会・午後7時～

※ゴールデンウィークも真近、何か予定は立ちましたか。三気の里でも海に山にと計画を練っています。参加してみようかなと思われる方、ご連絡下さい。



よくゆだったら直ちに水にとって冷やし皮をむく。うどは、皮を厚めにむいて酢水にさらす。わらびは、重そうを入れてあくぬきする。今は旬です。早速、今日のテールは山の幸で飾ってみませんか。

興呂木

ボランティア学習会

ボランティアの皆さん、ご存じですか？三気の里では、ボランティア学習会をやっています。ボランティアに来てもらったときに、どうしたらよいか分からないことがあると思います。そんな不安を解消する場、ボランティアと施設の親睦を深める場としての学習会。参加はもちろん自由です。時間に心にゆとりのあるときは、是非参加してください。詳しくは、担当の平川までお尋ね下さい。

編集集後記

今回のたんぽぽは、年度末の報告書・計画書作り慌ただしさの中で、かなりイライラ（ほとんど坂井の八つ当たり）しながら作りました。次回はゆとりでつくりたいな。

(坂井)